

## 岩手県における地上デジタル放送推進に向けた取り組み強化活動(詳細版)

### <周知広報関係>

#### 施策1 共同スポット放送等の周知広報活動の強化

##### (1) 現状

- ア NHK・民放各社が制作した「教えて！地デジ大使(2分)」を毎月最終週(月～金)夕方ニュースで共同放送(全社)
- イ スポット放送「やっぱり地デジだべ！(1分)」を毎日放送(NHK)
- ウ デジサポ岩手が開催する地デジ説明会日程を、テレビ・ラジオ・FMで毎日放送(NHK)

##### (2) 今後

- 現状に加え、さらに以下の周知広報活動を追加する。
- ア 民放4社が共同スポット放送を開始(3月～)
- イ NHK・民放4社が共同スポット放送を開始(4月～)
- ウ 地域情報番組のキャスター席にアナログ放送終了のカウントダウンボードを500日前、1年前などに合わせて設置(4月～、全社)
- エ デジタル中継局開局情報をスポット放送やニュースで随時放送(全社)
- オ 地デジ関連情報をテレビ・ラジオで随時放送(全社)
- カ デジタル中継局開局やアナログ放送のレターボックス化など詳細な情報を関係業界に事前周知
- キ 3月11日朝刊で岩手県内全域にアナログ終了500日前を周知する折り込みチラシを実施(約39万部)

#### 施策2 イベント等を通じたアナログ放送終了の周知徹底

##### (1) 「地デジカ列車」の常時運行

地デジ普及の遅れている三陸沿岸の三陸鉄道北リアス線(宮古～久慈間)に、「2011年7月アナログ放送終了」のシールをラッピングした「地デジカ列車(2両)」を運行するとともに、鉄道会社の協力を得て、利用者へ「2011年7月アナログ放送終了」の印刷物を配布する。

また、周知効果を勘案し、他の路線や局車等への拡大を検討する。

運行期間 : H22. 3. 11 ~ アナログ放送終了

##### (2) アナログ放送終了「カウントダウンイベント」の開催

アナログ終了500日前(3月11日)、1年前(7月24日)、デジタル放送の日(12月1日)などにカウントダウンイベントを開催し、アナログ放送終了の周知徹底を図る。

### 施策3 地方公共団体による周知広報活動の強化

#### (1) 現状

県や市町村の広報誌を通じ、住民への周知徹底を図っている。特に、該当自治体広報誌において、地デジ中継局の開局を実施。

#### (2) 今後

現状に加え、県ホームページのトップページに、NHKが制作したスポット「やっぱり地デジだべ！」動画配信サイトへのリンクを設置。(2月末～)。

また、自治体ホームページにおいて、アナログ放送終了カウントダウン等の周知徹底を図る。

## <受信普及促進関係>

### 施策4 「地デジちよい見せ活動」を中心とした受信機の普及促進活動

#### (1) 地デジ普及キャラバン活動の展開

電商組等家電流通業界やデジサポ岩手、自治体と連携し、「地デジちよい見せ活動」等の普及促進活動や説明会、受信相談活動を実施する。

実施時期 : 4月～

実施回数 : 毎月1回以上

#### (2) 低普及地域における普及率up活動

デジタル中継局の送信場所が移転した地区において、家電流通業界やアンテナメーカー等と連携した「アンテナ設置キャンペーン」活動を波状的(4月、7月、10月、12月、3月)に展開し、受信方法の周知徹底と地デジ受信アンテナの設置促進を図る。

対象地区 : 久慈市(約11,000世帯)、盛岡市松園地区(約2,000世帯)等

#### (3) デジタル中継局開局と連動した普及促進活動

デジタル中継局の試験電波発射および開局日に合わせて、放送や自治体広報誌、新聞折り込み、のぼり旗等で周知するとともに、家電流通業界と連携し、「地デジちよい見せ活動」や「地上デジタル放送の受信テスト」を実施する。

また、地上デジタル放送の詳細な受信状況調査結果について、地域電器店等を対象に事前説明会を開催する。

#### (4) 電器店店頭での周知ポスター・のぼり旗の掲示徹底

地デジの受信可能エリア図や受信方法説明パネルを店頭に展示してもらうとともにアナログ終了のぼり旗の掲示を徹底する。

### 施策5 共同受信施設のデジタル化対応促進

#### (1) 共同受信施設のデジタル化改修の加速

CATV技術協会等の施工業界と連携し、国の補助事業およびNHK技術支援策を活用した「共同受信施設のデジタル化改修工事」を加速する。

#### (2) 集合住宅への対応強化

デジサポ岩手や施工業界と連携し、施設所有者や管理者等に対する「単なる説

明」から「設備点検カルテを活用した具体的な設備改修提案」への活動転換を図るとともに、入居者に対する地デジ受信の周知徹底を行う。

(3) 障害対策共聴への対応強化

デジサポ岩手や施工業界を通じて、管理者や加入者に対し「地デジ受信点検カルテ」を活用した地デジ個別受信の可否や施設の改修方法などを説明し、デジタル移行を促進する。

(4) ホテル・旅館等への対応強化

ホテル・旅館における効果的な地デジ対応を促進するため、旅館ホテル生活衛生同業組合等の関連業界と連携して設備点検活動を実施し、「設備点検カルテ」による詳細な設備実態・改修提案を実施する。

## 施策6 ケーブルテレビへの加入促進活動

ケーブルテレビ事業者（自治体運営含む）と連携し、地域の受信実態に応じた「ケーブルテレビ加入促進キャンペーン」を実施する。

特に、自治体が新たに設置するケーブルテレビにおいては、該当自治体と連携して、対象地域全域の加入促進の徹底を図る。

自治体が新たに設置するケーブルテレビ：釜石市、葛巻町、藤沢町

## 施策7 家電流通業界開催の商談会等への協力

ボーナス商戦（6月、12月）やW杯サッカーと連動し、家電流通業界が開催する商談会等に全面的に協力し、地デジの普及促進を図る。

## 施策8 「受信料全額免除世帯へのチューナー配布」への支援実施

地デジ受信状況や共聴施設のデジタル化改修状況について、地デジチューナー支援センターと情報を共有し、対象者に無料配布の情報が行き渡るように様々な機会を捉えて周知広報に取り組み、チューナー配布の完全実施に向けた支援活動を実施する。

## <送受信ネットワーク整備関係>

### 施策9 デジタル中継局等の確実な整備

平成21年度は24局を3月末までに整備するとともに、平成22年12月までに、予定しているデジタル中継局22局を確実に開局し、電波による世帯カバー率88%を図る。

また、自治体が新たに設置するケーブルテレビや共同受信施設のデジタル化改修を促進し、本年末には、中継局整備と合わせて世帯カバー率94%を確保する。

### 施策10 新たな難視地区への対応

新たな難視地区を把握するとともに、対策計画を策定し地元関係者と対策計画を推進し、新たな難視地区を最小限にする。